「スマホがあなたをダメにしているのではない、あなたがあなた自身をダメにしているのだ」

スマホが多くの人の手に渡った現代では、スマホ依存が問題になる事があるようですが、問題はスマホその物にあるのではなくて、使う人自身にあるわけです。

電車の中を見渡して、スマホとにらめっこしている現代人を見て「日本は終わったな」と思うかもしれませんが、大事なのはスマホで何をしているかではないでしょうか？

スマホを使って自分を高めようと、本を読んでいる人、勉強をしている人に対して、何の文句が言えるのか？

そして、スマホでゲームをしている、動画を見ている人に対して、「スマホがコイツをダメにしている」と先走ってはいけません。その人はスポーツ選手で、厳しい練習の合間のリフレッシュとして、パズドラをやっているのかもしれません。もしくは一日、１５時間勉強している受験生で、少し気分を変えようとYoutubeの動画を見ているのかもしれません。

もちろん、そうである確率は低いでしょう。しかし、可能性はゼロではない。

今回の動画で伝えたいのは何事も、情報が不十分な状態なのにも関わらず、何様なのか勝手に全てを悟ったかのように物事を判断するべきではないと言う事。

本の内容を本の表紙だけで判断するな。

電車の優先席に座る若者は何らかの内臓疾患があって座っているかもしれない。

お節介に気になるのなら、聞いてみてはいかがでしょうか？「スマホでゲームしているようだけど、何の目的があってやってるの？」「なるほどね、就活の時期だけど、就活が上手くいっていないうえ、ESを書くのが面倒で現実逃避でゲームをしているのか。まぁ、気持ちは分かるけどさ、そのゲームで時間使いすぎたらさ、さらに就活の状況が悪くなるよ。リフレッシュするのは良いけど、大事な事に時間を注ぐのを忘れるなよ」と言うならまだしも、ジムの休憩所でスマホで本を読んでいた私に「スマホ、アホ」とカタコトで言ってきて、私がスマホを見る様を外人特有のボディージェスチャーで馬鹿にしてきた、あの５０代位の外人を俺は許さない。

俺はスマホを俺自身の生存率を高めるための道具として使っている。自分自身や家族を守るために銃を抱える人と同じ。「銃が人を殺すのではない。人が人を殺すのだ」と言う論理と同じで「スマホが人をダメにしているのではない、その人がその人自身をダメにしているのだ」

論理の無い、感情的な説教は止めにしましょうよ。